

季節を生かした遊び

葉っぱ遊び

どんな遊び？

四季の自然に触れ、五感を刺激する
落ち葉の感触を楽しみましょう

日本の大きな特色である四季。自然や季節を感じられる
戸外での遊びは、子供たちが開放感を味わいながら活動できます。
ここでは、秋の落ち葉を使った遊びを紹介します。

ねらいと活動展開のポイント

季節を感じられる工夫をする

落ち葉の感触や、匂い、がさがさとした音など、五感をフルに活用して、子供たちが季節を感じることができます。
それぞれの季節を生かした遊びを工夫すると良いでしょう。

普段の遊びではできない動きを取り入れる

ほうきや熊手を使って葉っぱを集めることから遊びは始まっています。両手いっぱい葉っぱを持って運んだり、
集めた葉っぱに飛び込んだり、普段の遊びではできない動きを取り入れることができます。

やってみよう！

葉っぱでいろいろ遊ぼう



●葉っぱを一つ所に集める

道具を使って、葉っぱをかいたり、両手に抱えて運んだりしながら、葉っぱを一つ所に集めます。ふわふわの大きな山を子供たちと一緒に作ります。



●葉っぱを降らせる

葉っぱを放り上げたり、高いところから落としたりします。葉っぱを降らせる様子に合わせて、子供たちの自由な想像力から生まれたイメージを膨らませるような声かけをしましょう。



●葉っぱの山に飛び込む

高いところから、ふわふわの葉っぱの山に飛び込みます。葉っぱの中でコロコロ転がったり、山にもぐったりしながら、落ち葉の感触を楽しみましょう。

幼児期運動指針の視点を踏まえた工夫

●子供たちは、戸外で開放感を味わいながら、思い切り活動することができます。好奇心や探求心をかきたてる自然物に触れることで、知らず知らずのうちに体が動きます。自然に親しむ工夫をしましょう。

遊びのバリエーション

- ▶ ほかの季節でも、春の桜、冬の雪などを使った遊びを工夫する。
- ▶ 落ち葉の中に隠れているダンゴムシなどの小動物を見つける。

保育者の声



『面白くするためには仕掛けが必要』

遊びたいと思える環境を整えています

・子供たちは遊びの中で最も成長すると考え、生活の中で遊びを一番大事に考えています。
試行錯誤しながら自ら遊びを見つけ、取り組める環境を整えています。

